

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月24日更新

事務事業名	プレミアム付商品券販売事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名	後藤 章博
	施策	4	子育て支援の充実	所属課	福祉課	担当者名	森田 健二
	施策の柱	15	子育ての経済的負担の軽減	所属班	社会福祉班	(内線)	1152
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令	プレミアム付商品券事業実施要項 プレミアム付商品券事務費補助金交付
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 31年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	10月からの消費税率引き上げに際し、低所得者及び子育て世帯に与える負担の影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・支えるために、低所得者及び子育て世帯向けのプレミアム付商品券(500円×10枚綴り 最大5セット)の発行を行う。対象者は、①平成31年度の住民税が非課税者で、かつ住民税課税者の扶養でない者、②令和元年6月1日時点の住民で、平成28年4月2日から9月30日までに生まれた子が属する世帯主に対し、利用可能額5千円(購入額4千円)の商品券を上限2万5千円まで販売するものである。
【業務の流れ】	広報活動(広報誌、HP、個別通知)→該当者に購入引換券申請書を発送→申請書受付→受給資格の審査→支給・不支給の決定→決定通知書→購入引換券の発送→商品券販売→換金処理
【主な予算費目】	①事業費 (12,000名(非課税)+2,300名(3歳半))×5,000円=71,500千円 ②事務費 58,508千円(概算)
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	7月から事業に着手し、10月から翌年2月まで商品券を販売した。合計20,761冊(1冊あたり500円券10枚綴り)の購入があり、利用期限(3月末)までに総額約1億3百万円の商品券による購買があった。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) なし(令和元年度事業終了のため)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 購入引換券申請書、引換券の発送件数 イ:	予算の主な増減の理由
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民(住民税非課税者及び該当乳幼児をもつ子育て世帯の世帯主)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア: 住民税非課税者の数 人 イ: 3歳未満の子の数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	消費税増税による生活への影響緩和する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア: 販売冊数 冊 イ:
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	件			14,300	11,416				
	イ									
② 対象指標	ア	人			12,000	8,987				
	イ	人			2,300	2,429				
③ 成果指標	ア	冊			14,300	20,761				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円			130,008	55,897			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円			130,008	55,897				
	(A)のうち指定経費	千円			129,633	326				
(A)のうち時間外、特勤	千円			375	326					
人件費	正規職員従事人数	人			0	5				
	延べ業務時間	時間			0	1,490				
	(B)人件費計	千円			0	5,904				
トータルコスト(A)+(B)		千円			130,008	61,801				

事務事業名	プレミアム付商品券販売事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 令和元年度で事業終了	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 令和元年度で事業終了	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事業を行う必要最低限の経費である	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事業を行う必要最低限の人件費である	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国の施策で対象者が決まっているので、公平、公正である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国の施策であり、市町村を主体として行わねばならない事業であるため、住民等には移行できない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

商品券の購入率が約68%であったため、全体の予算執行率が73.2%となった。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>令和元年度で事業終了</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						